

歴史・文化

① 金原明善翁生家 (安間町)

きんばらめいぜん
金原明善翁は天保3(1832)年、現在の東区安間町に生まれました。自身の財産を投げ売り、当時「あばれ天竜」と呼ばれていた天竜川の治山・治水事業を生涯に渡って取り組みました。

生家では明善翁の歩んだ人生やその中で取り組んだ数々の事業について、写真を交えて紹介しています。



② 伊豆石の蔵 (中野町ほか)

天竜川流域には、伊豆半島で産出された石を建材とした「伊豆石の蔵」が多く残されています。中野町地内にある「まっし蔵」は地域の活動拠点として大切にされており、伊豆石の特徴である緑がかった色と白い波模様を見ることができます。



③ だるま市 (笠井町)

毎年1月10日に福来寺のお祭りと初市が一緒に行われるこの笠井だるま市は、明治24(1891)年1月10日の初市に、旅商人の「伝衛門さ」が藤枝の長橋達磨屋から仕入れて売り出したのが始まりと言われています。だるまは毎年新しいものに買い替え、サイズを少しずつ大きくしていくのが習わしです。



④ 蒲神明宮 (神立町)

かばしんめいぐう
蒲神明宮は、藤原鎌足10世の孫・越後守静並が伊勢神宮に詣でた際に神からのお告げを受け開発した蒲の地を、御厨として神宮に寄進し、神宮の分霊を迎えて創設したと伝えられています。



東区内には、歴史を感じる場所がたくさんあります。ぜひ足を運んでみてください。

笹ヶ瀬陣石、諏訪神社、木船廃寺跡、まるがた通路、天龍運輸発祥之碑、下石田報徳社、蛭子森古墳、服織神社、撫松庵跡の築山と句碑群、旧笠井郵便局、十七夜観音堂の築山と句碑群、十輪禅寺、富士神社、白鳥の富士石、西泉寺、法源堂、松岳院、榎木夷白の句碑、大菩薩坂、八坂神社、千人塚古墳群、市野砦

⑤ 旧鈴木家屋敷跡 (中郡町)

旧万斛村の鈴木権右衛門は、室町時代から続く家柄で、徳川家康公が浜松城に在城の際に、万斛村とその周辺の村々の代官の役割を与えられました。鈴木家は江戸時代にわって「独礼総代」という大きな権威を与えられ、強い統率力を持っていました。徳川家康公は鈴木家に側室の阿茶の局を預け、狩のときなどに頻りに訪れたとされています。



⑥ 大歳神社 (天王町)

おとし
「疫病除けと花火の天王さま」として知られ、歴史は平安時代にさかのぼります。8月1日に近い土・日の大祭には花火が打ち上がり、夜空を彩ります。



⑦ 十湖百句塚 (豊西町)

俳句の里



松島十湖

東区は「第二の芭蕉」と呼ばれた俳人・松島十湖の影響により、俳句が盛んな地域です。十湖翁は、嘉永2(1849)年、現在の東区豊西町に生まれ、俳句を人々の生活に即したより身近なものとして広めました。十湖翁は俳句を後世に残すため、句碑の建立を推奨したため、東区には400近くの非常に多くの句碑が残っています。その功績を称え「東区俳句の里づくり事業」の中で「十湖賞」俳句大会を行っています。



⑧ 源長院 (豊町)

松島十湖翁の菩提寺であり、十湖のほか多数の句碑、松島茂岡、司馬老泉の墓碑、報徳関係者碑、三遠農学社の功績をたたえる記念碑があります。

⑨ 百人一句塚 (御嶽神社) (豊西町)

地元の方からは「おんたけ様」として親しまれています。毎年11月2・3日に大祭があり、火渡り(2日夜)が行われます。境内に百人一句塚、磯丸の歌碑などがあります。



百人一句塚 (豊西町)